



今求められるもの

三年次主任 山口博之

先日「10年後、20年後の社会はどのように変化しているのだろうか。」という文章をみかけました。そこには今後10〜20年間で職業のあり方が大きく変わることが予測されていました。それは人工知能（AI）の発達やIoT（様々な物に通信機能を持たせ、自動制御や情報収集などを行うこと）の実現などの技術革新の影響などによるものであり、10〜20年後に日本の労働人口の約5割が、技術的には人工知能やロボットなどにより代替できるようなようになる可能性が高いと推計されています（野村総合研究所）。具体的には代替可能性が高い職業として事務員や組立工、作業員、オペレーターなど、低い職業としてデザイナーや医療福祉、教育、芸術家など

でした。ただしあくまでもコンピュータによる技術的な代替可能性の試算であり、必ずしもすべてが変化するわけではありません。一方、日本の人口は2010年以降、人口減少社会に入り、2030年に65歳以上の割合が総人口の3割に達し、生産年齢人口（15歳以上65歳未満）は総人口の約6割まで減少すると予測されています（国立人口問題研究所）。現在の日本の人口は、1億2千万人ですが、2050年には9千7百万人に激減し、現在の居住地のうちの約2割が「無居住化」という予測もあります。

このような変化の激しい社会を生きる今の生徒たちは、多くの選択の場面に直面し、よりよい選択をして生きていかなければなりません。

せん。社会の変化への対応力とよりよい選択をする際の心の拠り所として普遍的な価値観が重要であると私は考えます。いくつかの価値観を考えると、一つ目は『信頼』です。信頼されるためにはすばらしい言葉を言うより、きちんとした行動を少しずつ積み重ねていかなければなりません。具体的には「約束した時間を守る」とこと。時間厳守は最高のマナーです。約束した時間より前に着くと相手を大事に思っているということとを言葉に出さなくても表現できます。他には「約束した仕事は約束した期限内に仕上げる」「電話すると言ったことは電話する」「あげると約束したものをあげる」「見せてあげると言ったものを忘れずに見せる」など一つ一つはたいたことではありません。でも少しの積み重ねが信用を作るのです。こうして積みも積もって信頼という大きな財産になっていくのです。

二つ目は『自分がしてほしくないことは人にもしない（孔子）』です。相手が約束を守ってくれないと嫌ならば、自分も約束を守らなければなりません。人にバカにされるのが嫌ならば、人をバカにしてはいけません。自分が一生懸命話しているのに聞いてくれないのが嫌ならば、人の話にも耳を傾けなければなりません。友人知人



の悪口もそうです。第三者に言った話しは必ず相手に伝わると覚悟しておきましょう。いずれにしてもその基本は自分が相手の立場でこんな事をされたら嫌だなと想像できることです。

三つ目は『人の見ていないところで努力する』です。目の前の仕事を全力でやらないとチャンス逃します。今いるところで全力投球をするから認められます。人の見ていないところでどれだけできるか、手抜きをしないかがよい仕事に結びつきます。

このように社会がどのように変化しようとする中、しっかりととした価値観を持つこと、また拠り所となる信念を持つことが今求められるのではないのでしょうか。

「進路内定状況」

進路部長 小林 雄一

〔平成二十八年年度 三年次
進路内定状況（二月二十七日現在）〕

進学者全体の人数は、昨年とほぼ同数でしたが、内訳は大学進学者がやや増加し、その分短大進学者が減少しました。大学・短大とも、県内および仙台圏への進学がほとんどであり、地元志向が顕著です。専門学校では、医療系進学者が多くなっているなかで、看護に進む生徒が減少している状況があります。進学主体として、推薦・AO入試を中心に内定者が出ていますが、これらの入試は、夏季休業中からの受験対策に加えて学力の定着が求められます。特に看護医療系・栄養系は学力の充実が必要です。現在も、一般入試に向けて努力している生徒いますが、最後まで粘り強く頑張つてほしいです。公務員は、二次試験で苦戦した生徒もみられましたが、一月末現在、五名が合格しています。これは、一年次から講習に参加し、計画的に学習内容を積み上げた結果です。目標に向かって地道に努力することが何よりも大切です。民間就職では、十二月末で希望者四十二名全員が内定を決めました。好調な求人状況の中で、就職活動をおして、「自分に合った仕事を極めること」、「決意した目標を達成するために、しっかりと

準備すること」が大切です。雇用環境が良くなったとはいえ、企業の採用基準が下がったわけではありませんが、本校でも一回目で内定をもらえなかった人が七名を数えました。「社会に出る覚悟とやる気」、「学力」、「欠席がないこと」など求められることは多くあります。入社してからが勝負であることを忘れず、期待に応えられるよう自分を磨く努力を惜しまないでください。

今でも思っています

一年次主任 堀米 昭一

入学式と同じ日に進路希望調査が渡ります。「入学おめでとう」の言葉もそこそこに「3年後の進路どうしますか」と聞かれます。どの高校も同じで進学校などは、スタートが早い者が勝つという理念のもと直ちに指導が入ります。ただ、それは当然大学に進むことが前提になっていて、それに対して天童高校は、大学短大か専門学校か就職か、から始まります。私自身のことを振り返ってみると、何をやりたいのか、何に向いているのかからず、大学に普通科があったそこに行こうかなあと思っていたぐらいです。親を納得させる強い志望もなかったのですが、余り経済的に負担をかけないことで、まあなんとなく進学するため勉強をやっていた、というのが実情だったと思います。やりたい

こと（好きな職業や勉強）があり、それで学部学科、文系理系とかを決めるべきなのでしょうが、私はその都度その都度、決めてきたような気がします。

しかし、大学生のときに「強い目的」を持って学生生活を送っている後輩に出会いました。年下ながら、なんて生き生きとして輝いているのだろう、と思うのと同時に大きなショックを受けました。羨ましいという思いと自分が情けないという気持ちになりました。もちろん、目的のためには多少の犠牲や我慢をしてきたことでしょう。でも、そのとき楽しければよい私とは全然違っていました。物の価値は最初から決まっているのではなく、その取り組み方によって決まるので、与えられた中で生きがいを見つけないということも大切ですが、私も後輩のようだったら、別の人生になっていたかもしれないと今でも思っています。

全てのエネルギーは進路実現に向かう

二年次主任 高橋久美子

年次目標を「充実の二年」として主体的な学びを大切に活動に取組んできました。総合の時間（週1単位）では外部講師による進路講話やマナー講座、小論文講座などキャリア教育に関わる学習を行った他、七月下旬には高大連携事業として東北文科大学において講義体験（90分×2コマ）、八

月下旬には明治大学の学生との交流会など本校初となる事業に参加する機会に恵まれました。また夏休みには就職希望者を対象としたジュニアインターンシップが行われ各事業所において就労体験し、二月には校外において本県主催の就職ガイダンスが開催されました。公務員希望者は講習による学習を進めており、十二月の受講生の中には好成績者が複数いると聞いています。親子進路説明会は六月と一月に開催し、八十%を超える高い出席率となりました。

これまでを振り返ると、昨年に引き続き授業、部活動、行事など意欲的に取組む生徒が多く、生徒会役員をはじめとするリーダーたちの成長を感じる場面がありました。部活動では新体制以降にダンス部が全国入賞を果たした他、空手道部、なぎなた部、少林寺拳法競技が全国選抜大会への出場権を得ており「南東北総体2017」への期待が膨らみます。その他「創造力の甲子園」等各種コンクールでの入賞もあり、才能豊かでエネルギー溢れる生徒たちの今後の成長が楽しみです。

課題である学習はオンラインによる苦手克服課題配信を行い、3年次に向けた基礎学力の向上をめざしています。これまで以上に親子で進路実現に向けた努力を継続してください。人は変わり、夢は叶います。

合格者インタビュー

自信と笑顔

山形大学 人間社会科学部
人文社会科学科 人間文化コース
大木 舞

Q なぜその大学・学部・学科を選んだのですか？

A 高校1年の夏休みに、山形大学のオープンキャンパスに参加し、その時受けた模擬授業に興味を持ったのがきっかけです。その後山形大学について調べていると、卒業後に多方面の職種に進めることを知り、私はまだはつきりとした将来の夢を決めていなかったのですが、可能性が広がると思い、山形大学に決めました。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？

A 1年生の時から、推薦をもらえるように常に受験を意識した学習を心がけました。とにかく部活動が忙しかったので、朝は4時に起きて少しでも勉強時間が確保できるように努めました。また、2年生からは、自分の進路に関係する新聞記事を切り抜いて読み、要約と自分の考えを書くことを定期的にしています。これを行なうことで、世の中でどのようなことが問題視されていて、注目されているのがわかるようになります。

Q 後輩へのアドバイス

A 受験の準備は、皆さんが思っているよりも大量にしなければいけないことがあります。後々、「時間が足りない！」ということにならないように、できるだけ早く準備を始めた方が良いでしょう。最後に、受験期はとても辛いですが、最後まで諦めず、自分の意志を貫いて頑張ってください。

今できることをする！

山形厚生看護学校

黒坂 杏奈

Q なぜ、厚生看護学校を受験しようと思ったのですか？

A 部活の先輩が進学していたのできっかけです。学校見学に行き、他の大学や看護学校と比べた中で、この学校の先輩とお話したり、体験したりして、自分にはこの学校が一番合うと思ったからです。また、パンフレットからも良い印象を受けました。

A 中でもこの学校は、様々な病院で豊富な実習ができることに一番魅力を感じました。実習先が多いことで様々な病院の特徴や雰囲気を知ることが出来ます。また、大人数の学校なので、多くの人と関わることが出来ます。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？

A 受験科目は、現代文、小論文、面接でした。面接練習はとても苦手でしたが、練習を重ねるにつれて、自分でもうまく相手に伝えられるようになったと実感できたので頑張れました。現代文では、漢字の読み書きが不得意だったので、先生から「ことば」をもらって一から解き直しました。家でも、中学の時の漢字のテキストを使って毎日4ページずつ覚えることを目標に勉強しました。また、とにかく過去問を解きました。おかげで、試験ではほぼ全ての漢字を書くことが出来ました。小論文も時間を計って家で過去問を解きました。

Q 後輩へのアドバイス

A 私は、1、2年次ではテスト勉強をさぼりがちでした。もっと1、2年の内に勉強をして良い成績を取ってれば、と後悔しています。今本気を出していない人がいたら、今のうちにテスト勉強に力を入れてください。後で後悔します。3年生で頑張っても、

評定はあまり上がりません。今できることをすること！皆さん夢に向かって頑張ってください。応援しています。

諦めないこと

天童市役所 行政

濱田 響生

Q なぜ公務員を目指そうと思ったのですか？

A 最初は親からの勧めで、なんとなくでした。公務員について勉強していくうちに深く理解することができ、明確に公務員として地域貢献がしたいと思ったからです。天童市役所（行政）を選んだのはどうしてですか？

A もともと1年生から公務員講習を受けていたのですが、具体的に決めるとなった時に、やはり一番は地元である天童市に貢献したいという思いが強かったからです。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？

A 1年生から公務員講習で勉強してきたことを、何度も繰り返し解きました。出題範囲が広く、絞り込むことができないので、基礎をしっかりと定着できるようにしました。二次試験の対策としては、演劇部の活動などでの経験を生かしながら、先生や先輩に協力してもらって、不安要素がなくなるまでひたすら練習しました。

Q 後輩へのアドバイス

A 自分の望む進路先に進むには、たくさん大変な事を一つ一つクリアしていかなければなりません。途中で嫌になったりすることもあるかもしれません。しかし、そこで諦めずに努力することが大事なので、進路に向かって頑張ってください。

就職活動を振り返って

日医工株式会社（医薬品製造）

金子 紗奈

Q 日医工を受験しようと思ったきっかけは？

A 企業見学の際に、職場の雰囲気がとても良

いと感じました。日医工について調べてみると、国内の製薬企業の中で最も取扱品目が多いことや、薬を使う人の立場に立った医薬品開発が行なわれていることを知り、「私も日医工の一員として働きたい」と思ったことがきっかけです。

Q なぜ薬品製造を選んだのですか？

A 私の妹は小さい頃から薬を服用していて、以前から医薬品に興味があり、その上、中学校の頃から製薬業に就きたいと思っていたので製薬の仕事を選びました。また、ジェネリック医薬品の製造に携わることを通して、安くて安心な薬を提供し、薬を使う方の負担を軽減することができると思ったからです。

Q 受験対策や勉強で工夫したところは？

A 一般常識はどのような問題が出題されても解けるよう、苦手な問題は解き方をノートにまとめていつでも確認できるようにしました。面接練習では担当の先生からほとんど毎日指導してもらい、自分の伝えたいことを伝えるために、内容や態度の面で細かくアドバイスをいただきました。担当の先生以外の先生にも面接練習をお願いして、色々な質問のされ方に対応できるようにしました。それに加え、最終確認のため、ハローワークの模擬面接に申し込み、面識の無い人に面接してもらうことにより、本番のイメージをより明確にし、客観的なアドバイスを受けて、最後まで気が付かなかった悪いところを修正しました。

Q 後輩へのアドバイス

A 試験では、一般常識や面接でのマナーなどの直前にでも身につけられることだけではなく、評定や出席日数、取得した検定など、自分が3年間で積み上げてきたことも評価されます。進路を確定させることは、1、2年生にとっては遠いことのように思われるかもしれませんが、3年生になったときに希望の進路を実現できるように、今のうちから自分にとってプラスになる行動をとるという意識を持つことが大切だと思います。